

# 銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号  
加藤金属興業株式会社

◎ 2020年12月の国内電気銅建値は下記の通りです。

12月	1日	～	830円/Kg
12月	4日	～	840円/Kg
12月	11日	～	860円/Kg
12月	16日	～	850円/kg
12月	21日	～	870円/kg
12月	23日	～	850円/kg

2020年12月度は平均で847.80円/kgとなり、前月比71.70円/kgの値上がりとなりました。

## 海外銅価の動き

12月のLME銅相場 12/1～12/23 (安値ドル7,616.50～7,964.00 高値ドル)  
12月のNYC銅相場 12/1～12/23 (安値セント346.80～362.85 高値セント)

12月度のLME現物は、12/1 \$7,644.00 でスタート。LME銅相場は\$7,600を割込むことはなく、12/18には一時7年ぶりに8000ドルを超えた。それを受けて国内建値においても2011年以來の8ヶ月連続高を記録し、21日の建値は870円まで高騰した。11月の中国製造業担当者指数(PMI)は10年ぶりの高水準を記録し景気回復は顕著となっている。また、欧米においても米国の経済対策協議の進展やコロナワクチンの開発進展などによる楽観的な見方が浮上。更に将来の需要の面からも電気自動車はガソリン車と比較して約2倍超の銅を使うと言われているなど好材料が揃った。何れにしても単にヘッジファンドの資金流入だけの要素とは言えない状況だ。一例として、ゴールドマン・サックスの予測では2021年度は年平均価格が8625ドル、2022年価格は更に9175ドル、2022年前半までには史上最高値10,170ドル突破の可能性も見ている。

銅需給バランス…P社情報 2020年5月 資料より (単位/千トン)

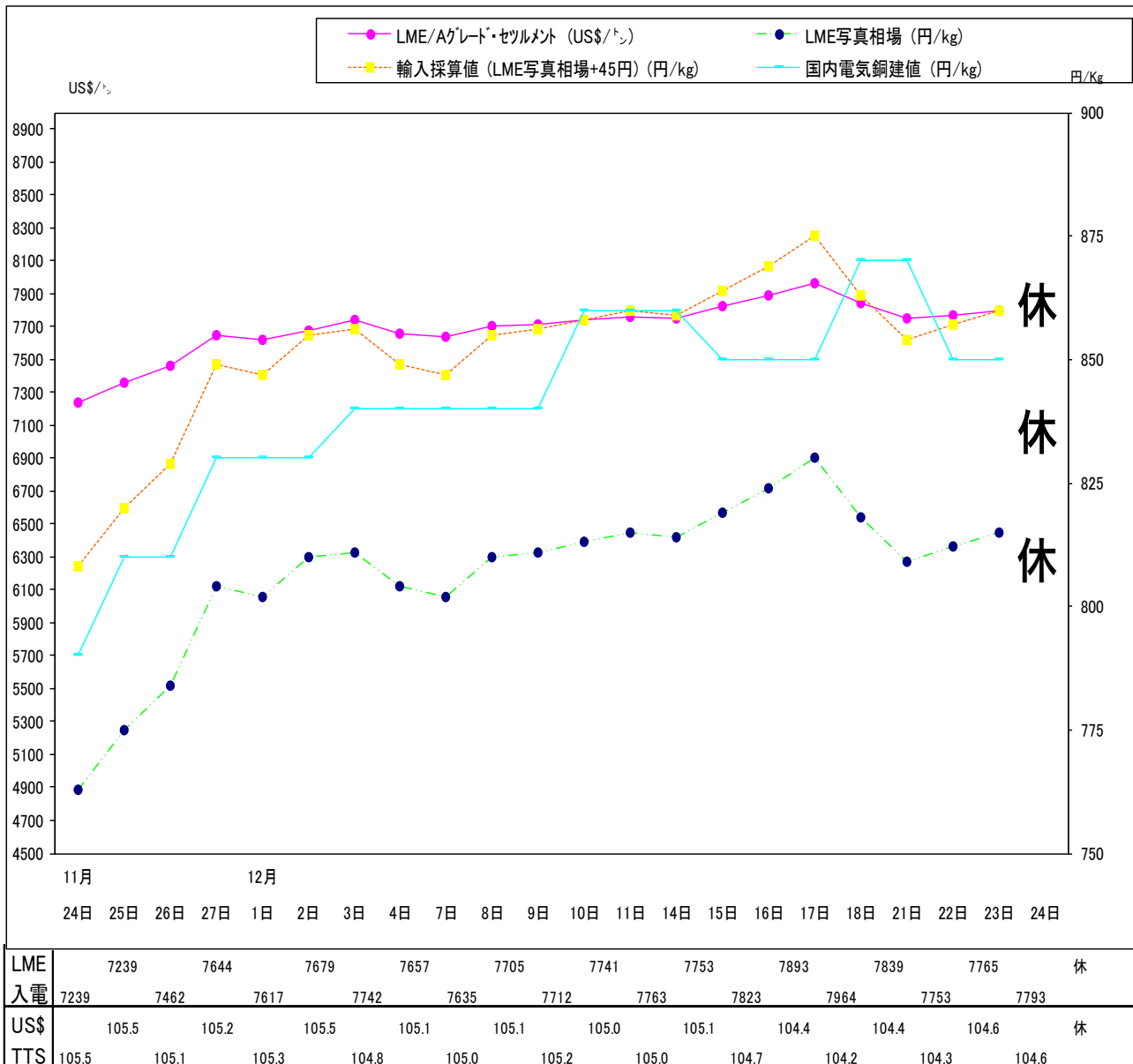
	2019年 実績	2020年 実績	前年比	2021年 予想	前年比	2022年 予想	前年比
全世界地金生産	23,531	22,893	-2.7%	23,668	+2.7%	24,545	+3.7%
全世界地金消費	23,621	22,772	-3.6%	23,518	+2.3%	24,456	+4.0%
全世界需給バランス	-90	+121		+150		+89	

## 先行き短期見通

### 国内銅価

12月の国内建値は12月1日750円でスタート。その後も順調に上昇する動きとなり、4日840円、11日860円、16日850円、21日にはついに2011年以來の870円を記録。23日は850円で一息。12/23付 LME \$7,764.50、同 為替(TTS) 1USD=104.65で日本円換算計算値813円/kgに。21年1月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限りでは、860円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2020年12月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 12月 1日 ~ 343 円/kg
- 12月 7日 ~ 334 円/kg
- 12月 10日 ~ 346 円/kg
- 12月 16日 ~ 343 円/kg
- 12月 22日 ~ 346 円/kg

平均342.80円/kg

2020年12月は上記の通りで前月比 12.10円/kgの 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

## ◎ その他の建値

電気鉛	12月	275.00 円/kg	(前月比+ 16.10 円/kg)
電気錫 (相対)	12月	3,410.00 円/kg	(前月比+ 110.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	12月市中価格	1,900.00 円/kg	～ 1,950.00 円/kg
銀	11月平均	82,250.00 円/kg	(前月比- 1,000.00 円/kg)
	12月28日	88,620.00 円/kg	
金	11月平均	6,301.53 円/g	(前月比- 154.47 円/g)
	12月28日	6,335.00 円/g	

## ◎ 伸銅品関係

### 2020年11月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		10月度実績	11月度速報	前月比	前年11月度実績	前年同月比
銅	板	1,102	1,043	-5.4%	1,517	-31.2%
	条	21,510	22,564	4.9%	20,556	9.8%
	管	8,289	8,023	-3.2%	8,741	-8.2%
	棒	1,620	1,625	0.3%	1,970	-17.5%
	線	266	286	7.5%	269	6.3%
黄銅	板	384	386	0.5%	547	-29.4%
	条	7,510	7,997	6.5%	7,837	2.0%
	管	354	350	-1.1%	446	-21.5%
	棒	13,534	13,392	-1.0%	14,554	-8.0%
	線	1,701	1,833	7.8%	2,033	-9.8%
青銅	板	2,309	2,482	7.5%	2,216	12.0%
	条					
	棒	223	220	-1.3%	269	-18.2%
	線					
洋白・その他	板	426	446	4.7%	385	15.8%
	条					
	棒	379	319	-15.8%	342	-6.7%
	線					
合計	59,607	60,966	2.3%	61,682	-1.2%	

11月の伸銅品生産速報は、60,966トンで前月比プラス1,359トン、前年同月比マイナス1.2%となり、前年同月比が24ヶ月連続でマイナスとなりました。

## 電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の9月分実績及び10月分推定によれば、9月分実績はコロナの影響が依然続き7部門中、通信と電気機械を除く5部門が前年同月を割り込み、総計5万1千969tで前年同月比14.2%減と12ヶ月連続で前年を下回った。コロナ禍により、新年度(4月)以降いまだに二桁減が続き、険しい需要環境には変化がない。

一方、10月分推定は、自動車が8千200tで7ヶ月ぶりに増加に転じたが、ほかの6部門が前年を割り込み、総計は5万6千000tで同7.8%減と13ヶ月連続で減少する見通し。ただ、10月になって減少幅は圧縮し、一桁減にとどまる見通し。

9月分の部門別出荷は、通信と電気機械の2部門がプラスとなった。通信はGIGAスクール向けLANケーブルと携帯電話基地局用高周波同軸が5G向けに動き前年同月比4.4%増加した。電気機械は自動車の電装用途に動き24ヶ月ぶりの増加となった。マイナスは5部門。電力は洋上風力発電向けは動いているが、CVの張替需要や保守メンテナンスは伸び悩み同6.5%減少した。自動車は日系顧客の需要が一部戻ってきたが、同4.1%減少し6ヶ月連続での下降。建設電販は、市販ルートと電設ルート共に伸び悩み同22.3%の減少。大型案件は控えるものの人手不足で作業効率の低下で8ヶ月連続の下降となった。その他内需もコロナ禍等による景気低迷により民間企業の設備投資の鈍化で同17.9%減。輸出もコロナの影響で同28.8%減で9ヶ月連続。

### 2020年9月分(実績)・2020年10月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	9月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	10月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	9月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	854	17.1	4.4	1,000	(17.1)	▼ 2.0	1,372	10.3	▼ 1.6
電力	(1,316)	(▼18.2)	(▼44.8)	(1,300)	(▼1.2)	(▼31.5)	(1,095)	(▼0.9)	(▼33.4)
	3,772	8.7	▼ 6.5	4,100	8.7	▼ 6.1	4,386	12.8	▼ 10.0
電気機械	(260)	(6.1)	(27.5)				(267)	(12.2)	(23.6)
	11,223	29.0	0.1	11,500	2.5	▼ 1.5	13,101	28.5	▼ 13.3
自動車	(198)	(17.2)	(20.7)				(707)	(18.4)	(26.5)
	7,794	44.2	▼ 4.1	8,200	5.2	7.0	37,547	44.0	▼ 0.1
建設・電販	(37)	(27.6)	(23.3)				(46)	(70.4)	(27.8)
	23,427	3.8	▼ 22.3	26,500	13.1	▼ 12.9	26,943	4.8	▼ 21.4
その他内需	(50)	(150.0)	(▼9.1)	(600)	(10.1)	(17.4)	(44)	(37.5)	(▼24.1)
	3,624	30.7	▼ 17.9	3,800	4.9	▼ 11.3	6,132	25.7	▼ 17.0
内需計	(1,861)	(▼10.2)	(▼34.4)	(1,900)	(2.1)	(▼21.1)	(2,159)	(8.0)	(▼14.1)
	50,694	16.2	▼ 13.7	55,100	8.7	▼ 7.3	89,482	24.3	▼ 11.1
輸出	(151)	(▼83.6)	(15000.0)	(1,400)	(827.2)	(2053.8)	(102)	(▼78.8)	(2450.0)
	1,275	80.9	▼ 28.8	900	▼ 29.4	▼ 30.7	5,270	56.5	▼ 13.4
合計	(2,012)	(▼32.7)	(▼29.1)	(3,300)	(64.0)	(33.4)	(2,260)	(8.9)	(▼10.2)
	51,969	17.2	▼ 14.2	56,000	7.8	▼ 7.8	94,751	25.7	▼ 11.2
心線販売	(436)	(35.4)	(▼13.0)	(500)	(14.7)	(▼24.4)	(98)	(36.1)	(▼19.0)
	22,452	35.5	▼ 24.2	26,100	16.2	▼ 18.6	15,701	38.2	▼ 20.5

(注) ( )内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。  
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

### 2020年9月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,719	17.4	▼ 4.2	2,546	24.0	▼ 19.8	
巻線	10,330	36.7	▼ 2.4	9,787	35.8	▼ 12.9	
機器用電線	2,858	13.9	▼ 11.4	8,580	17.1	▼ 8.3	
通信用電線・ケーブル	1,286	9.3	▼ 7.0	3,064	15.8	▼ 2.3	
電力用電線・ケーブル	18,279	7.0	▼ 21.5	18,681	9.9	▼ 25.2	
被覆線	9,361	8.9	▼ 22.0	13,373	10.2	▼ 18.3	
輸送用電線	6,136	44.4	▼ 1.0	38,720	43.4	0.7	
銅電線計	51,969	17.2	▼ 14.2	94,751	25.7	▼ 11.2	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	65	3.2	▼ 23.5	247	14.4	▼ 15.1
	電力用電線・ケーブル、被覆線	3,010	24.0	▼ 16.7	3,449	25.0	▼ 15.2
	計	3,078	23.4	▼ 16.9	3,719	24.3	▼ 15.3
アルミ電線計	2,012	▼ 32.7	▼ 29.1	2,260	▼ 8.9	▼ 10.2	
光製品	3,967,116	14.1	32.0	27,841	19.8	1.5	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	6,633	15.8	22.6	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

○ 国際アルミニウム地金相場、第1週、中国製造業PMIが三年ぶりの高水準となり、加えてドル安もありアルミは上昇基調でスタート。中国財新11月製造業PMIが54.9と高水準で価格は引き続いて上昇。第2週、中国の11月貿易統計で銅輸入は前月比9.2%減と2カ月連続減となった事で同が下落しアルミもつられて急落。米国が全人代メンバー14人への金融制裁を加えたことで米中対立激化への警戒感からアルミ価格は軟調に推移。新型コロナワクチンの英国での初接種に続き、カナダでもワクチンが承認され、米国での承認も間近とみられ、期待感からベースメタルの下値が支えられた。第3週、中国11月鋳工業生産が前年比7%増と8か月連続で増加となるも、11月のアルミ日産が10.6万と過去最高を記録したことから上値は重く、ドイツでのロックダウンを受けたユーロ安にも押され、軟調に推移。米時間に露ルサール社を再び制裁すると報じられ、警戒感からアルミは一時2年ぶりの高値\$2,096をつける。第4週、序盤は中国株やドル安に支えられ\$2,020台公判を維持したが中国大連鉄鉱石の下落や株式の急落を受け下落。後半は英コロナ変異種での流通網の混乱や米7-9月GDP、個人消費などの堅調な結果でドルが上昇しアルミは下落を続けた。英とEUが24日に自由貿易協定(FTA)で合意したことで英ポンド及びユーロが買い戻され、ベースメタルを支援。ただ、クリスマスイブがあり、28日までLME休場のため、動きは限定的。当面は\$2,000前後の狭いレンジでの推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー (CIF)                   2020年 11~12月積 2,144.00~2,149.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格                        2020年 11~12月積 239.30~239.80 円/kg
- ・NSP                                    2020年 10月 240.50 円/kg
- ・NSP (メーカー対応価格)        2021年 1月~ 3月 250.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高 (単位=千トン)

	' 20年10月	' 20年11月	' 19年11月
月生産	*2,362.0	2,297.0	2,307.0
平均日産	*76.2	76.6	76.9

(\* =訂正有り) 中国は対象外にしております。

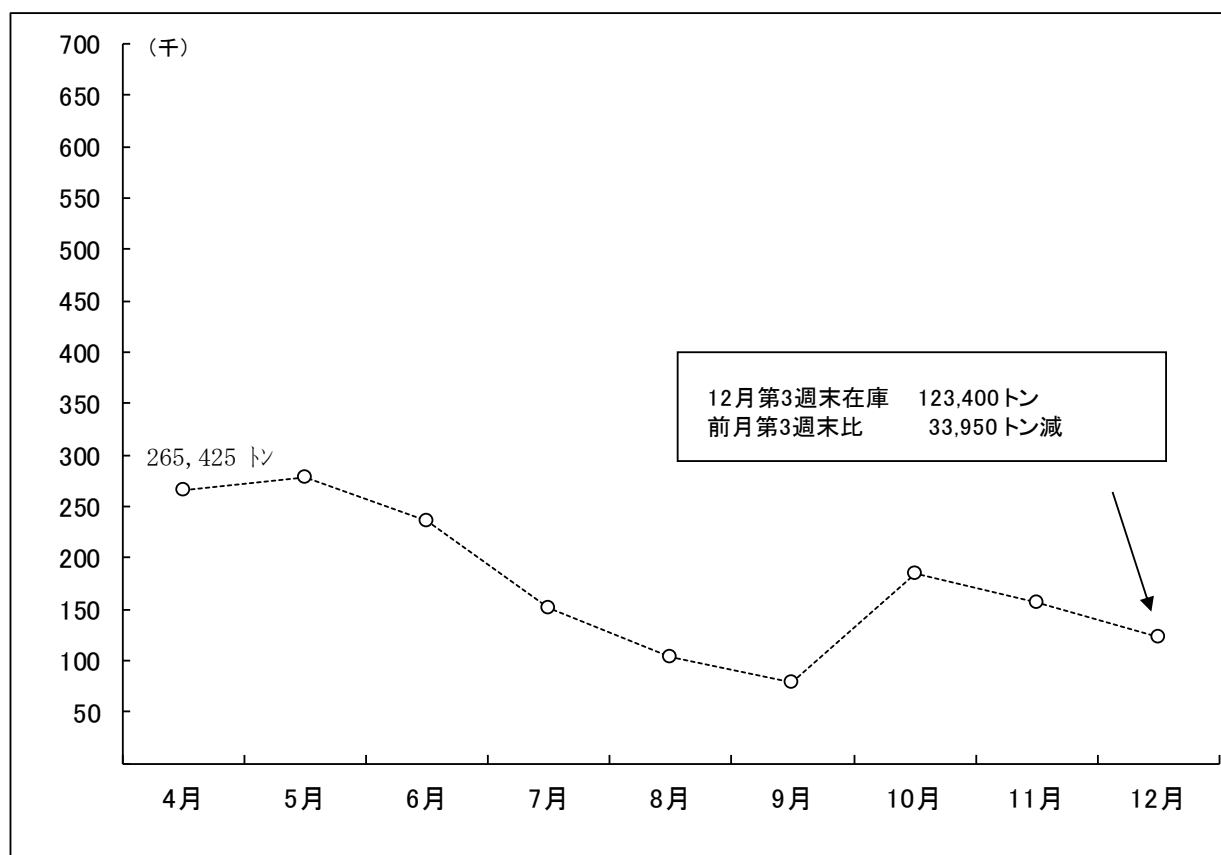
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位: トン)

	2020年8月	2020年9月	増減	2019年9月	増減
横浜	167,100	165,400	-1,700	157,600	+7,800
名古屋	141,900	126,100	-15,800	154,100	-28,000
大阪	17,500	20,000	+2,500	15,000	+5,000
合計	326,500	311,500	-15,000	326,700	-15,200

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・20年12月18日現在 78,386 S T 前月比 3,206 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・20年10月末 97,349 トン 前月比 2,712 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・20年10月確報 59,607 トン  
 ・20年11月速報 60,966 トン 前月比 102.8 %

◎ 電線出荷実績

・20年11月速報 56,100 トン 前月比 100.2 %

◎ 軽圧品生産実績

・20年 11月	板 類	90,963 トン	
	押 出 類	61,038 トン	
		<hr/>	
		152,001 トン	前月比 93.3 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。